

懇談事項に対する事前回答

① 子どもの医療費の無料化を中学校卒業までに拡大して欲しい。

【回答】（健康こども部 こども支援課 担当）

子どもの医療費助成制度は、安心して子育てができるための経済的支援として重要な施策として考えているところであり、本市の乳幼児等医療費助成制度では、北海道の基準で課税世帯の3歳以上就学前までのお子さんの医療費については1割負担のところを初診時一部負担金のみで受診できるように独自の助成拡大をしているところです。

現在の国の考え方としましては、未就学児への医療費助成を国民健康保険への国庫負担金から減額する調整を平成30年度から廃止することとした一方で「更なる医療費助成の拡大ではなく他の少子化対策の拡充に充てることを求める」と意見が付されるなど、医療費助成の拡大については未だ方向性が示されておらず、継続して全ての子どもが均一に医療助成を受けることができるような国による制度化を求めているところです。

こうしたことから、引き続き国などの動向の把握に努め、本市における課題や優先順位を考慮しながら、検討してまいりたいと考えております。

② 「子育てサークル」の公共施設の使用料を無料にして欲しい。

【回答】（健康こども部 こども支援課 担当）

子育てサークル等の活動拠点としている子育て支援センターにおいてサークルルームを無料開放しており、その他の公共施設を利用する福祉団体、障がい者団体やまちづくり団体など、様々な活動をしている団体がある中、子育てサークルのみを無料にすることは難しいところがあります。

「子育てサークル活動助成事業」として講師謝礼や会場使用料等を対象に1サークル年額1万5千円を上限として活動経費の一部を助成しておりますので、この事業を有効に活用していただきたいと考えております。

③ 保育園の待機児の実態と待機児解消対策の施設設置の具体的計画を
教えていただきたい。

【回答】（健康こども部 こども育成課 担当）

本市の待機児童につきましては、施設整備を積極的に進め3歳未満児の受け皿を拡充していることもあり、平成25年度末の267人をピークに減少傾向にあります。28年度末では102人となっております。

また、「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」では、平成31年度までに認定こども園6施設、小規模保育施設8施設を整備することとしておりますが、

今後3年間で認定こども園2施設、小規模保育施設4施設の整備が必要となる
ところでは。

なお、今年度において認定こども園2施設を整備するほか、小規模保育施設
2施設の開設に向け事業者を公募しており、まずは計画達成に向けて進めてい
く考えですが、今年度は5ヵ年計画の3年目でもあり、実態に即した中間見直
しを行い、待機児童の解消を確実なものにしたいと考えております。

④ 子どもの貧困対策（子ども食堂）として民間は少しずつ増えていますが、
市として対策を考えているか。

【回答】（健康こども部 こども支援課）

子どもの貧困対策につきましては、本市においても教育支援、生活支援、保
護者に対する就労支援、経済的支援として、様々な施策を総合的に進めている
ところであります。

昨今では、NPO法人等によるフードバンクや地域食堂などの活動が展開さ
れてきております。

今後につきましても、実施団体からのお話をお聞きし、活動状況等を見させ
ていただきながら、どのような支援ができるのか、関係部署と協議を進めてま
いりたいと考えております。

⑤ 児童館の増設（澄川地区・拓勇・拓進地区）将来的には各学校に。

【回答】（健康こども部 青少年課）

現在、沼ノ端鉄北地区（北栄町）に児童センターを含む複合施設の建設を計
画しており、平成30年秋ごろの完成を予定しております。

なお、利用対象の中心となる小学生の放課後の居場所づくりの重要性は認識
しておりますが、更なる児童館の増設につきましては、建設費・維持費、児童
数、市民ニーズなどを総合的に判断する必要があります。当面の間は新設児童
センターを含めた市内7つの施設の運営で対応できると考えており、他の地域
につきましては現状を維持する考えでございます。

⑥ 中央地区にプールを設置してほしい。

【回答】（総合政策部 スポーツ推進室 担当）

中央地区には民間のプールがあり、こどもの教室から大人の方まで利用者に
合わせたプログラムが提案され、多くの市民が利用されております。

市で新たなプールを設置することにつきましては、市民ニーズや建設費、ラ
ンニングコスト等の財政面及び市主体の施設サービスとしての必要性など様々
な観点から総合的に判断する必要があります。

現時点におきましては、既存施設の日新温水プール及び沼ノ端スポーツセンターの効率的な運用で市民ニーズの実現を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

⑦ 親子で、天候に関係なく遊べる施設がほしい。

【回答】(健康こども部 こども育成課、青少年課 担当)

本市では、「地域子育て支援拠点事業」として、子育て支援センターのほか、認可保育所3箇所の子育てルームを開設しているほか、児童センター6館におきましても午前中を中心に開設しております。

また、平成30年秋ごろの完成を目指し、沼ノ端鉄北地区(北栄町)に、児童センターを含む大型の複合施設の建設を予定しており、室内で遊べる遊具を備えた幼児親子の専用スペースや、大人と子どもが交流できる多目的ホールを設置する考えでございます。

したがいまして、当面は施設利用をPRする中で、天候に関係なく遊べるメリットを含めてご案内してまいりたいと考えております。

⑧ 公園の点検はどの様になっているでしょうか。

・すべてのトイレに電話番号が表示されていますか。

【回答】(都市建設部 緑地公園課 担当)

公園の点検につきましては、国が定める方針に基づいて年1回の専門技術者による詳細点検と、日常点検は職員4人2班体制でパトロールを行なっております。

また、すべてのトイレに「公園に関する連絡先」のシールを貼り、電話番号を表示しました。